

M & A活用事例解説

友好的なM & Aによる企業譲渡の体験談を発表する中尾敏彦氏。岐阜市司町、みんなの森ぎふメディアコスモス



岐阜信金が事業継承セミナー

岐阜信用金庫は16日、事業継承セミナーを岐阜市司町、みんなの森ぎふメディアコスモスで開いた。経営者ら約70人が、成長につながるM & A（企業の合併・買収）の活用事例を学んだ。

同金庫が地方創生の推進に関する連携協定を結ぶ岐阜市と共催。即席麺などの食品製造

ヒガシマルの傘下となり、きな粉や香辛料などを製造する向井珍味堂（大阪市）の前社長中尾敏彦氏が、友好的なM & Aによる企業譲渡の体験談を発表した。中尾氏は、後継者が不在という事業承継の課題を抱える中、解決策として企業譲渡を選択。相手先を選ぶ際に重視した点として「社員の将来、得意先とブランドを承継してくれる企業」を挙げた。希望を満たすヒガシマルと合意に達し「ご縁を感じた」と振り返り、「お互いが相乗効果を発揮できるM & Aをすべき」と成功のポイントを語った。